

令和元年東日本台風被害からの復旧状況

(栃木土木事務所からのお知らせ)

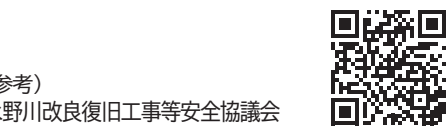
巴波川浸水対策

河川激甚災害対策特別緊急事業に採択された巴波川地下捷水路（バイパス河川トンネル）区間約 2.4km については、現在用地取得を進めております。令和4年度は、一部護岸工事に着手する予定です。事業概要や計画スケジュール等について、下記の「県土ちゃんねる」にて情報発信しております。ぜひご覧ください。



永野川改良復旧

河川災害復旧助成事業に採択された改良復旧区間約 10.6km について、現在（令和4年3月末時点）、約 6.8km 区間の河道掘削・護岸工事を実施しております。残る区間も順次施工する予定です。また、改良復旧工事に伴い改築となる橋梁や取水堰等の構造物についても、早期の工事着手に向け、設計や協議を進めております。工事期間中、地域の皆様には御不便をおかけしますが、早期復旧へのご理解をお願いいたします。



巴波川 浸水対策
永野川 改良復旧の 問合せ
栃木県栃木土木事務所

☎ (23) 3434
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/h55/>



栃木市の治水事業の問合せ
治水対策室 ☎ (21) 2785

コウノトリの 定着をめざして

問合せ先：渡良瀬遊水地課 ☎ (62) 0919

国内では、各地で国の特別天然記念物であるコウノトリの定着と野生復帰をめざす取り組みが進められています。渡良瀬遊水地では、多くのコウノトリが飛来しており、市が第1調節池に設置した人工巣塔にもコウノトリが飛来し、巣作りを始めました。コウノトリが、これからも遊水地とその周辺で暮らしていけるようにみんなでマナーを守り優しく見守っていきましょう。

観察するときは

コウノトリの観察にあたっては、次のマナーを守っていただくようご協力ください。



1. 静かに見守る

コウノトリを驚かさずに優しく静かに見守ってください。観察や撮影をするときは 150 m 以上離れましょう。

2. 地域に迷惑をかけない

コウノトリは水田、草地、河川、水路などでエサをとり、電柱や人工巣塔の上に巣を作ります。私有地や河川管理施設など立入が禁止されている所には、入らないでください。また、路上駐車をして他の交通の妨げにならないようにしてください。

3. 繁殖期には巣に近づかない

2月から7月はコウノトリの繁殖期です。この時期に人が近づくと、巣作りや子育てに悪影響を与えることがありますので、巣には近づかないようにしてください。

4. エサを与えない

野外で生活しているコウノトリは「野生動物」です。コウノトリが自力でエサをとり、個体数を増やしていけるようにエサを与えないようにしましょう。人がエサを与えてしまうと、自分でエサを探さなくなるだけでなく、与えられたエサに慣れることで人を攻撃したり、農作物を荒らしたりするようになる恐れがあります。

コウノトリの観察マナー啓発ボランティアを募集します

コウノトリが定着して、人と共に生きる地域づくりをめざすためには、より多くの方と観察マナーを考え広めていくことが大切です。そこで現地で観察マナーを広めるボランティアを募集します。

募集期間 6月1日（水）～30日（木）まで

対象 コウノトリが好きで、研修会に（年1回）参加できる方

申込 応募用紙（市ホームページよりダウンロード可。右の二次元コード参照）を問合せ先（藤岡遊水池会館2階）またはメール（yusuichi@city.tochigi.lg.jp）で提出してください。

